

## 2014 年度下半期学生海外発表奨励金 成果報告書

氏名 : 中河 貴也

所属 : 岐阜大学大学院 工学研究科 機能材料工学専攻 修士課程 2 年

会議名称 : Joint AIRAPT-25<sup>th</sup> and EHPRG-53<sup>rd</sup>

開催期間 : 2015 年 8 月 30 日～2015 年 9 月 4 日

開催場所 : スペイン・マドリード

### 【出席目的】

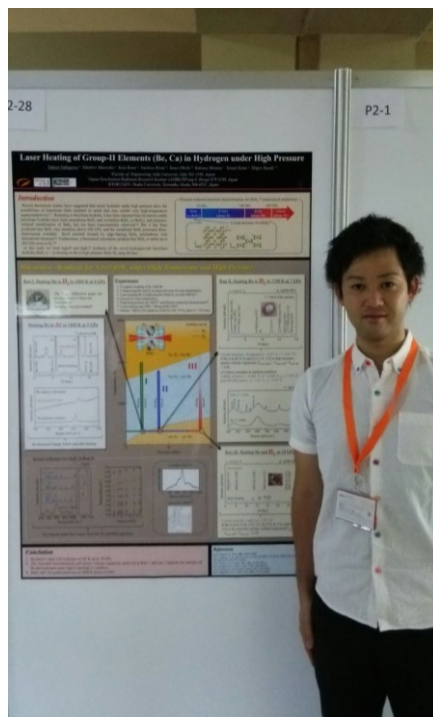
Joint AIRAPT-25<sup>th</sup> and EHPRG-53<sup>rd</sup> に出席し、自身の研究成果を発信する。海外の研究者とのディスカッションを通じて自身の研究の更なる発展に努めるとともに、他分野の発表を聴くことで研究の視野を広げる。

### 【成果の概要】

私はこの度、日本高圧力学会から学生海外発表奨励金の援助をいただき、8 月 30 日から 9 月 4 日にかけてスペインのマドリードで開催された Joint AIRAPT-25<sup>th</sup> and EHPRG-53<sup>rd</sup> に出席しました。AIRAPT は 2 年毎に世界各地で開催されていますが、今回は開催地がスペインであったため、ヨーロッパで毎年開催されている EHPRG との合同開催となっています。

スペインと日本の気温の違いはさほど気になりませんでした。スペインは日本に比べて乾燥しているため、日本で感じるようないわゆる「身体にまとわりつくような暑さ」ではなく、過ごしやすい印象を持ちました。開催都市のマドリードはスペインの首都にあたり、また世界的な観光都市の一つでもあるためか、街の中を多くの人が行き来し、賑わいを見せる街並みが広がっていました。マドリードでは街中の至る所に歴史を感じさせる建物があり、それらが織り成す景色に目を奪われることもありました。

今回出席した Joint AIRAPT-25<sup>th</sup> and EHPRG-53<sup>rd</sup> では、2 件の総合講演と 3 件の受賞講演 (Bridgman award, Jamieson award, EHPRG award)、30 件の基調講演、152 件の口頭発表、296 件のポスター発表でプログラムが生まれ、世界中から集まった出席者による活発な議論が行われていました。今回私は“Laser Heating of Group-II Elements (Be, Ca) in Hydrogen under High Pressure”の題目でポスター発表を行いました。高圧 H<sub>2</sub> 雰囲気下に置かれた Be および Ca に対するレーザー加熱 (2000 K 付近) を行うことで、従来報告のない BeH<sub>x</sub> および CaH<sub>x</sub>



が得られた可能性が高いことを報告しました。セッション中は多くの研究者に訪問していただき、実験方法や実験結果の考察に関する様々な質問をいただきました。全体の印象としては、生成物の結晶構造への関心が高かったように思いました。議論を重ねることでとても有意義な時間を過ごすことができましたが、同時に自分自身の英会話能力がまだまだであること、日本語や英語に関わらず自身の考えを相手に理解してもらえよう理路整然と話すことの大切さをあらためて痛感しました。

国際学会に出席したことで、自身の研究に関連する分野は勿論のこと、他の分野の情報も収集することができ、高圧力研究の奥深さを改めて感じることができました。最後になりますが、大変貴重な経験をすることができた今回の国際学会への出席に際して、日本高圧力学会より学生海外発表奨励金の援助をいただきましたことに心より感謝申し上げます。